

1
月号

第324号

いっしん

平成24年(2012年)

新玉の
年と迎へぬ
畏くも
神はいかにか
おぼしめすらむ

甘本教会
初代親先生より歌

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp ホームページ http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki



迎春

新年あけましておめでとござい
ます。

立教一五三年、教祖様二二九年、甘木
親教会布教一〇八年、そして加治木教会
布教六十一年の新春を迎えさせていた
だきました。

昨年、加治木教会では麗しく布教六十
年記念大祭をお仕えさせていただきました
難しいことございました。

今年も信奉者一同、健康に十分気を付
けて、元気に信心生活に取り組ませてい
ただき、少しでも親神様の申し召し、ご
神慮に添う「信心生活」に進ませていた
だきましよう。

自らが助かるおかげだけを願ひ、實際
に助かる道を見出せない、いわば自己中
心的信心からもう一步信心を踏み出し、
親神様が喜びご安心になられる、神様
の深い愛情・願ひ・おかけになられる使
命を悟り、親神様がどんな恵みもおかけ
も授け甲斐のあると思し召される、親神
様の御立場に立った信心へと成長させ
ていただき、真のおかけを蒙ることので
きる信心に、共々に取り組ませていた
だきましよう。

それが、親教会初代親先生が、矢野ク
ラ刀自にお伝えになられた大切な信心
心、求めるべき加治木教会の原点にある
ご信心であります。

(教会長)

新年を迎えて(教会長)…P 1
教区信徒会委員会総会…P 2

西南ブロック研修会講話…P 4~8
感謝パーティー…P 3 教会行事…P10

南九州教区信徒会
教区委員会総会
 開かれる

十一月二十六日(土)～二十七日(日)
 於 白田教会(大分県)



南九州教区四県から信徒十五名、
 教師四名が集い、大分県日田教会に
 おいて南九州教区信徒会教区委員会
 総会が開かれました。
 加治木教会からも上田和也さんが

参加させていただきました。

二十六日には、まず、予算・決算
 の審議・承認が行われました。

続いて、九月十一日に鹿児島で開
 催されました西南ブロック信心研
 修会開催についての経過報告を、鹿
 児島地方教会連合会信徒部の内門三
 朗さん中野義則(いずれも鹿児島教会)
 さんがされました。

西南ブロック信心研修会では、十
 五回の実行委員会を重ねて準備が進
 められ、当初の予想を超える参加者
 が見込まれることとなり、より広い
 会場に変更さ

れることとな
 ったが、心配
 されていた経
 費や来場者用
 駐車場など
 種々の問題も
 予想を超える
 お繰り合わせ
 をいただき御
 用を終了する
 ことができた
 ことなどを報



告されました。

また、「女性ネットワーク」につ
 いての話し合いがなされ、「今回のよ
 うな信徒会教区委員会に女性が参加
 しなければならぬと思うが、思う
 通りにいかない。また位置付けも考
 えて欲しい」と、日田教会在籍の田
 辺徳子さんから意見が出ました。

翌二十七日は日田教会の朝御祈念
 参拝に始まりました。
 この日総会の続きで、議題となり話
 し合われたことは次の通りです。

修徳殿入殿 全国信徒会委員対象、
 ご霊地修徳殿にて、5月26日(土)～
 27日(日)

第65回少年少女全国大会(8月4
 日～5日、ご霊地)

全国信徒会西南ブロック信心研修
 会は、四国教区が担当。会場は愛媛
 県伊予市の予定。

全国信徒会の会報誌『あいよかけ
 よ』の購読を勧めて行きましよう。

少年少女会・信徒会
感謝パーティー
 開かれる
 十二月二十二日

十二月二十二日(木)、加治木教会において年末恒例の感謝パーティーが開かれました。

年の瀬も迫り慌ただしくなる中、小中学校では終業式を終え、加治木教会では午後からの月例祭と共励会が終つてから、年末恒例の感謝パーティーが開かれました。

この一年を振り返つてみますと、三月に東日本大震災が起こり、五月には加治木教会の布教六十年記念大祭が仕えられるなど、忘れられない大きなできごとが多々ある中、天地の親神様のはかり知られない広大なおかげをそれぞれ蒙らせていただき、一年をすごさせていただいた感謝の心持を込めたパーティーを開かせていただいて、和やかな楽しいひとときを過ごさせていただきました。



一年間を振り返る写真ビデオアルバムを
 観て、カラオケ、引きなどを楽しませ
 美味しのお弁当・豚汁に舌鼓を打ち、
 一年間を振り返る写真ビデオアルバムを
 観て、カラオケ、引きなどを楽しませ



吉屋さん、小屋敷さんによる
 舞踊を拝見させていただきました

全国信徒会

九月十一日(日)

西南ブロック信心研修会

鹿児島サンロイヤルホテルにて

講演

講師：宇都木あけみ先生

東京都芝教会長

講題：「迷うことなく安心の道」②

(要旨：講話の一部省略あり)



ここまででは安心のお道の、金光教の一五二年間の歴史で、少し理屈っぽいお話しでしたが、ここからは、実際にこの安心のお道で助けられたと私が実感する人のお話をさせていただきます。

山本さんという方のお話です。

本人にお名前を出してお話しする承諾を得ていますので、お話しさせていただきます。

山本照代さんという六十八才のご婦人の方ですが、私方の教会の、ご近所の理髪店の奥さんです。

私の父が、タバコが好きで、タバコの自動販売機がその方の店のすぐそばにありましたので、父が朝タバコを買いに行くときに店お前を通り「おはようございます」とあいさつしていただきました。どこの方はこの方だろう、いい方だなと思つて見ておられたら金光教芝教会の先生だったということなのです。

あるとき、教会の前に池があるのです。雑踏の中で、すぐにホコリでいっぱいになってしまうので修行生の方は掃除が大変です。

その池に、大きな鯉のような大きな金魚がいるのですが、そこをお孫さんと一緒に通りかかりのぞいてありました。

お孫さんが「アツ金魚だ！」と言いながらよく通りがかられるようになります。あるとき、そのお孫さんが玄関の方に歩いてこられて、

芝教会は自動ドアですのでドアが開いて、お孫さんが入って来られまして、そのお祖母さんも入って来られたことがお引き寄せのひとつとなりました。

そのとき江田先生がおられたときで「どうぞ上がって下さい」ということで上がられて「どのように拝めばいいのですか」と尋ねられて、お孫さんと一緒に拝み始められ、それから教会に来られるようになりました。

来られるようになった頃に、修行生の江田先生が「何か悩みがあられるそうですが、私が教えを話しても右から左にといったように、ぜんぜん手ごたえがないんです」と言われ、私もお話をしますと、ほんとにそうなんです。

いつも、いろんなことをだんだんとお話しし始めますと、美しい顔が苦虫を噛み潰したようになって暗くなられてしまわれるのです。

どういふことなのかと思つてお話しを聞きました。

すると、お嫁さんのことでした。息子さんが二人おられて、お兄さん

の方に嫁さんが来られたのですが、自分がお嫁さんに対する期待を持ちすぎたのです。

娘がいらないからお嫁さんが来たらこういふふうにしてもらおう、こういふふうにしてよ、してもらおうという気持ちがよく大きくなって、そこにお嫁さんが来て、現実になぶってかかって大きなギャップに苦しんでおられたのです。

そりゃそうですよ、お嫁さんだってお母さんの期待に応えるために嫁に来たのではないのですから。息子さんのところに来たのですから、息子さんが良いければいいのですからお母さんがそんなに期待してはいけないと思います。

でも、その期待が大きくて、そのギャップに苦しんでいるうちに、お嫁さんを恨む気持ちを持ち始められて、それを言えないからどんどん自分の体を虫食んでいくのです。

それで、ときにはアルコールの臭いがするようになるところがありました。これは大変なことにならないといんだが、と思い、お話ししていました。

そのようなときに、ちょうど私どもの教会の裏に「マッカーサー道路」という道路が通るようになりました。「マッカーサー道路」とは、今から六十六年前に、マッカーサーがここに道路を作りなさい」と言ったのが、今実現しているのです。

芝教会はギリギリではずれたのですが、虎ノ門教会はちょうどその道路にかかりまして、今は埼玉県の春日部に移っておられます。

芝教会の裏口のところから駅の五メートルのところへ新しく、下を車が通って国道に直通する、すごい道路ができてきたのです。

その工事のときに、その理髪店も立ち退きに遭うのです。そして、埼玉県の戸田というところに移るといふことまでは聞いていました。

しかし、いつ移ったのかも分からずに、ピタッと来られなくなったのです。

それから三年くらい経って、ある日よるよるになって来られたのです。「どうしたの」と聞きましたら「先生、あの後、私このようなことだったので」と語られまして、引越

が始まった頃劇症肺炎で倒れられたということなのです。

お嫁さんのことで、恨む気持ちがどんどん自分の体を虫食んで行って倒れてしまつて、意識不明が一週間、それから四ヶ月入院して、ほんとに命を助けていただいたのです。

そうして、退院をして埼玉の方に



家に行くのと、皆が腫れ物に触るように、母さんがムリすると大変だからと、身の回りのことをみんなやってくれるようになったのです。すると今度は、私がいても何にもならないじゃないか、と思うようになり、自分で自分の命を絶とうとしたらしいのです。

そのときに『天地は語る』を毎日読んでいたということなのです。それは「あなた、引越すんだっ

これをプレゼントするから」とあげていたので。

毎日読んでは 教会に行きたいとずっと思っていたそうです。

それで、思いがかなって愛宕山のところにある長男のアパートに引越してきたのです。

そこから教会まで私たちの足でも二十五分くらいかかるのです。そこから、旦那様に付いてきてもらって一時間くらいかかって教会に来たのです。

そうして「先生ありがとうございます。私の命を助けて下さいました。たけれども、こういうことがあったのです。」とお話しされました。

しかし、そのときはまだ「ありがとうございます。」ではなかったのです。

でも 教会に来たい、自分の今の気持ち、教会で助けてもらいたいと、そこまで行っていたのです。

そうして、話を聞きだしますと、とにかく求めているので、「七月から夏季信行が始まりますから、それにさせていだき下さい」「先生私、出ることができませんでしょうか」「で

きます。お祈りして行けば出る事ができます。何とか歩いて来れるでしょう」「ハイ、来れます」「じゃ、やりましょう」ということで信行に参加することになりました。

その信行に参加するためにウォーミングアップ、練習を六月から始めて、歩く時間が一時間が四十分くらいになって、四十分が二十五分くらいになったところで、信行が始まりました。



そのようなことで、ときどき途中で

で歩けなくなるのです。大腿骨頭壊死という、美空ひばりさんなられた病気です。

途中で歩けなくなると止まってしまうたときに、鳩がどこから飛んできて、前に降りたそうです。その鳩が、チヨコチヨコチヨコと歩くので、自分も後をつけて歩くと、また鳩がチヨコチヨコチヨコと歩き、またその後を追っていると、歩けるようになって、その鳩がズーツとそう

やって連れてきてくれて止まったところが教会だったということもあったのです。

そういうような、神様が鳩になって案内をして下さったようなこともありました。

信行の中で毎朝お話しを聴くわけですが、み教えに「人はみな神様の愛し子」という言葉がありますね、人は神様のかわいい子どもたちという意味のみ教えですが、その言葉を聴いたときに、ヒーんときたのです。

アツ、自分のお嫁さんも神様の愛し子なんだ と思えたそうです。

そう思ったら、今までズーツと恨みがましい気持ちを持っていたのが、ザーツと溶けるような気がして、硬直していた体も硬直が取れるたような気になって、ほんとに楽になられたのです。

そう思ったら 手塩にかけた娘さんをつちはいたただいたんだ という気持ちになって、お嫁さんに対する姿勢というものが変わったのです。

そうなりますと息子も嬉しく、お嫁さんもお義母さんがそういう向かい方をしてくれるようになったら

で、素直な気持ちでお義母さんに向かわれるように徐々に慣れて行かれました。

この山本さんは、そういうことでおかげを頂かれたその先も、この方は信心深く以前に川崎大師にもお参りしてあったのですが、「私はこんな素晴らしい教えを頂く道に出会えた、私は昔、川崎大師に毎日日参をしました。そのときに、川崎大師さんは赤いお札を一枚下さいましてそれを持って帰り、一ヶ月間毎日続けてお札が貯まると、非常に達成感がありました。だけれども、今は何も残っていません。達成感だけしかなく、何も教えやお取次がありませんでした。このお道は、教えによって私たちが助かるということなんです。改めて、改めていただく、気が付かなかつたことを気付かせていただく。そして、そこから道が開かれて行く。そういうお道を頂いて、ほんとうに私は幸せです」というふうに言っておられます。

また、あるとき新橋でカルトと言われる宗教の方につかまって、息子さんの友達のお母さん方だったそう

ですが、ひとつのお家に連れて行かれます。南無妙法蓮華経と唱えな



言われると、「いいからやりなさい、やらないと助からないわよ」「いえ、やりません」と、ズーツと押し問答して、「ほんとに頑固な人ね」と言われながらも絶対に気持ちを变えなかつたそうです。

けつきよく根競べだったそうで、最後は「いいです、もう帰って…」と言って放されたそうです。

そのとき私が思ったのは、また神様がお試しを下さつたんだな、そういうことで揺るがないものができてきたのだな、と思いました。

その山本さんは、旦那さんと一緒に参りたいとズーツと思っておられたので、教会にお参りするとき、前の日に教会で頂かれたみ教え

のポイントをシンプルに書いて、一緒に暮らしておられる旦那さんと次男さんの目に付くように、必ずコタツの上に置いて出かけていました。

そうすると、必ず見られるのです。それが毎日重なって行くうちに、奥さんも非常に明るくなって笑顔が出てきて、旦那さんも奥さんに笑顔が出てくるようになって嬉しくなつて、それまで一緒に教会まで付いてきて教会には絶対に入らずに、外で待っていた旦那さんが、一緒に教会に入って参拝されるようになって、二人で朝参拝をするようになった。

その信行期間は皆勤賞で、それからずつと皆勤賞を続けまして、いつも表彰されて、「また山本さん夫婦か、でも偉いね…」という感じで皆に言われていました。

今、その旦那さんがパーキンソン病になって入院しておられますが、そのような状況になって、それまで十年間引きこもりで悩みの種だった息子さんが変わってこられたのです。ずつとそのことを願ひ続けて来られていたので、「息子さんと話し続け



なさい、絶対にギブアップしてはいけません」と言っておりましたら、何とその息子さんが、お父さんが入院をするその前、だいぶ弱られてきた頃に「これじゃいけない!」と思われたらしいのです。

もともと床屋さんに勤められていて、技術のある方ですので、やっと「仕事を見つけないか」と言ってお仕事をみつめて来られたのです。

自分達がいなくなつた後、このままではのたれ死ぬのではないかと心配しておられ「誰でもできるよ」うな、コンビニの仕事でも何でもいいから」と言っておられたら、自分で理容師の仕事を見つけて来られたのです。

十年間の
ブランクが
あるので、勤
め出した最
初は「辞めた
い、辞めたい
…」と言っ
ていたらしい
のですが、そ
れでもいつ



も話の聞き役に回って「お母さんもいつもそういうことがあつたけど、ここを乗り越えればチャンと道がつくから、神様があなたを試してあるのよ」と言っておつていてうちに、今二ヶ月目に入ります。

ほんとにヒヤヒヤして「辞める」と言っんじやないかと思つて「そうじやない、神様が付いておられる」と言い続け思い続けて、そういうおかげを頂いておられます。

そういうおかげを頂いて、安心の道を頂いてある方があります。
(休憩時間に入る。つづく)

「どんな人も掛け替えのない
神の氏子であることを
忘れぬよう…」



高齢化社会が進み、さらに戦後最大の国難ともいえる東日本大震災に遭遇し復興に取り組む中にある私たちにとつても大切な考え方であると思われまますので載せておきます。

「金光新聞」(平成23年八月七日発行)に「認知症と信心」という講題で(森本雅文先生・西岩城教会長・愛媛県)共励会が開かれたときの講話内容です。

「日本には現在、二七〇万人の認知症の高齢者がいて、八十才以上の

三、四人に一人という割合だ。」

「記憶や理解・判断力の障害などにより、鬱(うつ)や妄想、徘徊はいか(い)のほか、興奮や暴力に陥ることもある。認知症の人は一番お世話になる人を攻撃することが多く、怒られたり責められたりすることは、認知症の方からの勲章贈呈だと思いい直して欲しい。」

「お礼を土台に、取り組むことが大切である。／家族や周りに認知症が起きると、信心が揺らぐ人もいるが、迷惑をかけられようと、目に見えないところに隠れている認知症の人の願いを大切に、周りの人も本心の玉を磨いていく、どんな人も、掛け替えのない神の氏子であることをわすれぬように、日々信心の稽古に励みたい」

金光新聞は年間購読料四二〇〇円(自宅郵送四八〇〇円)です。購読して信心の向上に取り組みましよう。

あしあと

加治木教会行事記録

12月

- 1(木) 報徳月例祭 10時半
- 3(土) 甘木親教会御大祭 第一日
- 4(日) 甘木親教会御大祭 第二日
- 9(金) 斎掃御用 10時
- 10(土) 生神楽 月例祭 10時半
- 11(日) 御本部布教功労者報徳祭 遷拝 10時
吉屋家霊祭
- 13(火) 竜笛稽古
- 15(木) (運布教協議会 加美) 10時半
- 21(水) 斎掃御用 10時
- 22(木) 月例祭・共励会 13時半
" 感謝パーティー 17時より
" 青年会忘年会 20時より
- 25(日) 竜笛稽古
- 29(木) 斎掃御用 10時
- 30(金) 越年祭 13時半

いりきまり 入来 菜里さん

三反恵子さん(加治木町在)の従兄妹の孫に当たる、入来 菜里(いりきまり)さんは、現在NHK「モリゾー・キッコロ 森へいこうよー」(毎週土曜朝七時十五分)に出演中です。ウド鈴木さんとのコンビで楽しい番組に盛り上げてあります。



ご霊神様のおまじ

一月

- 中村宗吉之霊神(4日)昭和61年
- 内村八儿工之霊神(6日)昭和59年
- 有馬幸子之霊神(9日)平成16年
- 西本五男之霊神(11日)平成15年
- 前田正蔵之霊神(13日)昭和39年
- 瀬戸セミ之霊神(14日)昭和56年
- 小屋敷 勝之霊神(14日)平成1年
- 信國鈴子之霊神(20日)平成5年
- 中島ふさ之霊神(20日)平成16年
- 福山瑞枝之霊神(20日)平成21年
- 柳園義男之霊神(24日)昭和8年
- 本中野イセマツ之霊神(25日)昭和59年
- 桐野仲助之霊神(27日)昭和21年
- 瀬尾 清之霊神(27日)昭和41年

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

一月十六日から放送予定のフジテレビ月9ドラマ『ラッキーセブン』(主役は、嵐の松本潤)に出演されるそうです。

入来菜里さんは、三反恵子さんのお父様(磯(いそ)さん)の実弟照美さん(鹿児島市在住)のお孫さんです。

一月三日(月)

甘木親教会年頭参拝

出発：午前七時頃

一月八日(日) 十時半より

少年少女会 鏡開き・七草祭

※お祭りのあと、ぜんざいと七草たし焼きを
作ります！書初め用習字道具持参してね！

一月十日(祝) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

成人感謝祭 奉仕

※成人者 玉串奉奠・記念品授与。

一月二十九日(日) 十時より

場所：鹿児島教会

鹿児島地方教会連合会

定期総会

二月十七日(金)

甘木親教会

報徳祭 参拝

二月十二日(日) 午前十一時より

加治木教会 (前日御用奉仕)

報徳祭 奉仕

※ご祭典・教話、後直会。

教会行事

平成二十四年

1月

1(祝) 元日祭 正午

3(火) 甘木親教会年頭参拝

8(日) 少年少女会 10時半

9(祝) 斎掃御用 10時半

10(火) 生神金光 大神様 月例祭 10時半

13(金) 若婦人会 13時半

17(火) 連合会執行部会(上荒田教会)

21(土) 斎掃御用 10時半

22(日) 月例祭・共励会 13時半

青年会 20時

26(木) 28(土)

少年少女会連合本部 理事会

29(日) 連合会定期総会(鹿児島) 10時

31(火) 斎掃御用 10時半

少年少女会 青年会 若婦人会は、都合により日程を変更することがあります。随時連絡しますのでお気を付け下さい。

2月

1(水) 報徳月例祭 節分祭 10時半

4(土) 甘木親教会初代立日御祈念 10時

9(木) 斎掃御用 10時半

10(金) 生神金光 大神様 月例祭 10時半

11(土) 御用奉仕

12(日) 加治木教会 報徳祭 11時

矢野政美大人立日

17(金) 甘木親教会報徳祭 11時

18(土) 甘木親教会「同釜会」

19(日) 上荒田教会 報徳祭

21(火) 斎掃御用 10時半

22(水) 月例祭・共励会 13時半

青年会 20時

29(水) 斎掃御用 10時半

日程未定行事

多良木教会報徳祭 11時

西鹿児島教会報徳祭 12時

若婦人会

少年少女会

一月八日(日) 十時半より

少年少女会

七草祭(鏡開き)